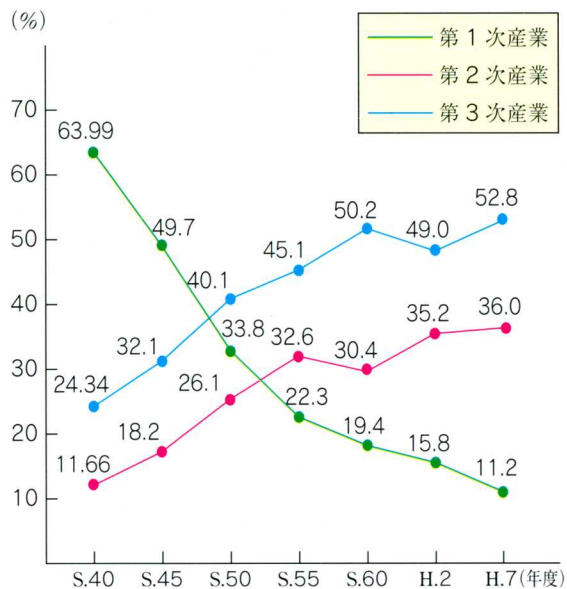


雇用とその変化

原子力発電所ができるまでには、建設開始からおよそ5年ほどの歳月がかかり、この間の建設には大勢の作業員が必要です。

大熊町においては、昭和40年以降原子力発電所の建設の進ちよくに伴う雇用機会の拡大により、就業者数の増加が続き、なかでも第一原子力発電所の建設が始まった昭和40年から45年と、第一原子力発電所の運転開始と第二原子力発電所の建設が重なった昭和50年から55年の就業者数は、それぞれ、3,463人、4,074人、4,227人、4,883人になるなど、大きな伸びが見られました。また、建設が終了した現在でも電力会社や関連企業に勤める人々は多く、雇用の中心となっています。

●産業別就業者の割合の推移



●発電所関連雇用状況

(平成12年12月1日現在)

区分	内 訳				東京電力計	内 訳				関連企業計	内 訳				協力企業計	内 訳			総 計
	福島第一	福島第二	広野火力			福島第一	福島第二	広野火力			福島第一	福島第二	広野火力						
大熊町	352 人	35	6	393	192	79	22	293	543	198	8	749	1,087	312	36	1,435			
全 体	1,017	600	255	1,872	921	670	815	2,406	4,202	1,956	426	6,584	6,140	3,226	1,496	10,862			

